

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和2年8月17日（月）～令和2年8月23日（日）〔令和2年第34週〕の感染症発生状況

第34週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 流行性角結膜炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

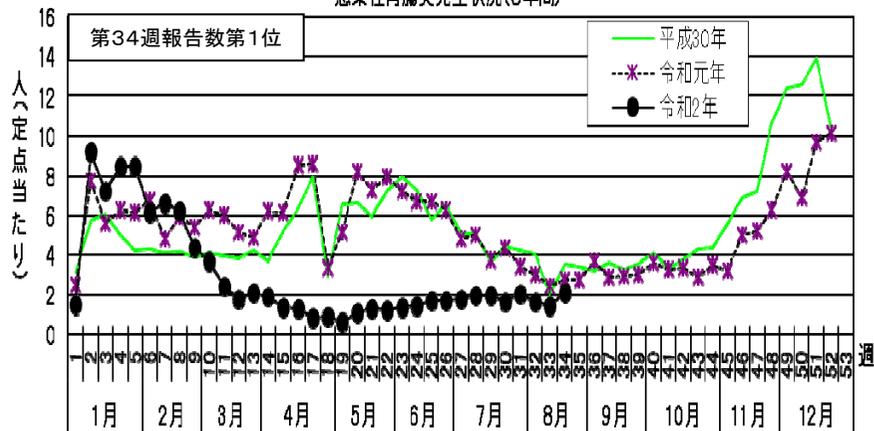
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.08人と前週（1.42人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。

流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は1.00人と前週（0.00人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

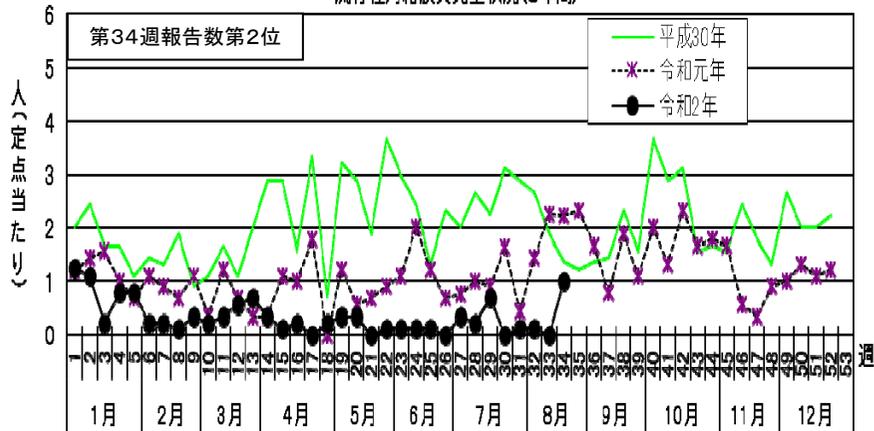
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.57人と前週（0.25人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



流行性角結膜炎発生状況(3年間)



新型コロナウイルス感染症～職場での感染を防ぎましょう～

川崎市における新型コロナウイルス感染症の報告数は、7月末から再び増加しており、令和2年第34週（8月17日～8月23日）は137件と、前週から8件増加しました。家族内など少数のクラスターが多いですが、職場関連での感染が疑われる事例が少しずつ増加しています。

職場における感染対策のポイントとしては、こまめに換気をする、席や更衣室などでは適切な距離をとる、備品の共用はできる限り避けるなどがありますが、体調が悪い場合に、軽めの症状でも休む・休ませることが最も重要です。

適宜、マスクの着用や手洗いなども行いましょう。

職場における「4つ」の対策ポイント

換気



室内ではこまめに換気をしましょう

密



席や更衣室で、人と適切な距離をとりましょう

共用



複数人での備品の共用はできる限り避けましょう

休



体調が悪い場合は、軽めの症状でも休みましょう・休ませましょう

感染防止の3つの基本である
①身体的距離の確保
②マスクの着用
③手洗いの徹底をお願いします。

